



岡崎市 暮らしの相談担当者

原のりひこ  
公式サイト



# 原のりひこ

## 担当者レポート No.5

発行日:2022年1月31日

発行所:トヨタ自動車労働組合

発行人:鬼頭 圭介

編集人:原 紀彦 印刷所:(株)トヨタエンタ  
プライズ共栄カンパニー

組合員の皆さま、そのご家族の皆さま、謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、主に web 会議を通じて多くのご意見・ご要望をいただき、暮らしの環境改善に向けて取り組んで参りました。

### 暮らしの相談担当者 web トーク！



もっとも多かったのは、「道路」に係る内容でした。その中でも、大きな効果が期待できる事例をご紹介します。その他にも、数多くのご意見やご要望をいただきました。ありがとうございました！

#### 【ご意見】

県道1号線の「ほたる橋南交差点」において、1号線を南方面から右折する時、混雑してなかなか曲がれない(右折信号機あり)



#### 【ご回答】

ほたる橋南交差点含む、1号線の10交差点のサイクル調整を行った上で、右折信号の切替時間を「朝:3秒」、「昼:7秒」、「夕:7秒」遅延しました。



### 地域活動に密着！ ～出会いの機会を大切に～

「岩津消防団第十一部」にお伺いし、地域の防災リーダーである消防団員に密着しました。



団員の皆さんは「地域とのつながり」を大切にされていました。消防活動をやっていると、感謝のお言葉を頂くそうですが、そのお言葉が活動の原動力になっていると口を揃えて言われます。どんな活動でも、コミュニケーションは「入口」なんだと改めて実感しました。

現代は核家族化が進み、地域交流はあるものの、コミュニティが希薄化しているように感じます。こんな時代だからこそ、団員の皆さんが大切にする「つながり」の意識や行動が重要だと考えます。



## 通算4度目となる一般質問で登壇しました



岡崎市議会にもようやくタブレット端末が導入され、12月定例会より試験運用が始まりました。ペーパーレス推進のためにも積極的にタブレットを活用して参ります。

テーマは大きく2つで、「環境の取組について」と、「北部道路網の整備について」になります。今回は、一部をご紹介します。

詳細は右のQRコードよりご確認ください。



### 「北部道路網の整備について」

本市の北部は、豊田市や花園工業団地への通勤などによる、交通渋滞が慢性化している地域である。加えて、今後阿知和地区工業団地や、(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジが稼働すれば、今まで以上に北部周辺の渋滞が懸念される。

Q: 東名高速道路高架下周辺から北側の県道岡崎足助線バイパス区間の進捗状況を伺う。



A: この道路は、円滑な交通を確保し、渋滞解消を図ることを目的に、県により、岡崎足助線のバイパスの整備を行うものである。現在までに概ね用地取得を完了し、東名高速道路北側では道路の形状もはっきりと分かる程度にまで造成など、基盤の工事も進んでおり、引続き早期の供用開始に向け、残る用地の取得と、工事を進めていく。

### ○新型コロナワクチン追加接種について

2回目接種を終了した方のうち、概ね8か月以上経過した方を対象に、3回目の追加接種を予定します。【補正予算】

**3億8,499万円**



### ○教育ネットワーク運用管理について

「授業目的公衆送信補償制度」を利用することで、授業等で著作物を利用したデジタル教材の送信(配信)が可能となり、オンライン授業が日常的に行えるようになります。【補正予算】

**462万円**



### ○コンベンション施設整備について

岡崎市の QURUWA プロジェクトにおいて、本事業のコンベンションホール再考による、当該事業の準備に関して支出した費用を支払います。

【補正予算】  
**4,275万円**

